

日本語 HP OpenVMS

V8.3-1H1 インストレーション・ガイド

BA322-90081

2007 年 11 月

本書は、日本語 OpenVMS オペレーティング・システム V8.3-1H1 をインストールする方法について説明します。インストールの前に、必ず本書をお読みください。

改訂 / 更新情報:

新規マニュアルです。

ソフトウェア・バージョン:

日本語 OpenVMS V8.3-1H1 for Integrity Servers

日本ヒューレット・パッカート株式会社

© 2007 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の著作権は Hewlett-Packard Development Company, L.P. が保有しており、本書中の解説および図、表は Hewlett-Packard Development Company, L.P. の文書による許可なしに、その全体または一部を、いかなる場合にも再版あるいは複製することを禁じます。

また、本書に記載されている事項は、予告なく変更されることがありますので、あらかじめご承知おきください。万一、本書の記述に誤りがあった場合でも、日本ヒューレット・パッカーは一切その責任を負いかねます。

本書で解説するソフトウェア(対象ソフトウェア)は、所定のライセンス契約が締結された場合に限り、その使用あるいは複製が許可されます。

日本ヒューレット・パッカーは、弊社または弊社の指定する会社から納入された機器以外の機器で対象ソフトウェアを使用した場合、その性能あるいは信頼性について一切責任を負いかねます。

本書は、日本語 VAX DOCUMENT V 2.1を用いて作成しています。

目次

まえがき	vii
1 インストールの準備	
1.1 インストレーション・キット	1-1
1.2 アップグレード・インストレーション・パス	1-1
1.3 日本語 OpenVMS のライセンス	1-2
1.4 必要なソフトウェア	1-2
1.4.1 標準版 OpenVMS V8.3-1H1	1-2
1.4.2 XPG4 ロケール・データ・ファイル	1-2
1.4.3 レイヤード・ソフトウェアのバージョン	1-2
1.4.3.1 日本語 DECwindows Motif for OpenVMS	1-3
1.4.3.2 TCP/IP Services for OpenVMS	1-3
1.5 インストレーションに必要な特権	1-3
1.6 必要なディスク容量	1-3
1.7 必要なシステム・パラメータ	1-3
1.8 システム・ディスクのバックアップ	1-4
2 日本語 OpenVMS のインストレーション	
2.1 インストレーション・ツール	2-1
2.2 日本語 OpenVMS V8.3-1H1 for Integrity Servers のインストール手順	2-1
2.2.1 日本語 OpenVMS V8.3-1H1 の新規インストール手順	2-1
2.2.2 日本語 OpenVMS V8.3-1H1 のアップグレード・インストール手順	2-3
3 インストレーションの検証	
3.1 インストレーション検証プロシージャ (IVP)	3-1
4 インストレーション後の作業	
4.1 イニシャル・インストール後の作業	4-1
4.1.1 システムのスタートアップ	4-1
4.1.2 漢字ターミナルの設定	4-2
4.2 アップグレード後の作業	4-2
4.3 問題点の通知	4-3

A 日本語 OpenVMS オペレーティング・システムのインストール例

B XPG4 ロケール・データ・ファイルのインストール例

C インストール検証プロシージャ (IVP) の出力例

D ファイル一覧

D.1	JSY\$DICTIONARY	D-1
D.2	JSY\$EXAMPLES	D-1
D.3	JSY\$HELP	D-2
D.4	JSY\$LIBRARY	D-2
D.5	JSY\$SYSTEM	D-2
D.6	JSY\$TEST	D-3
D.7	SYS\$COMMON:[SYS\$KEYMAP.DECW.SYSTEM]	D-3
D.8	SYS\$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]	D-4
D.9	SYS\$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]	D-4
D.10	SYS\$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]	D-4
D.11	SYS\$COMMON:[SYSHLP.JA_JP]	D-4
D.12	SYS\$COMMON:[SYSMSG.JA_JP]	D-5
D.13	SYS\$HELP	D-5
D.14	SYS\$LIBRARY	D-5
D.15	SYS\$LOADABLE_IMAGES	D-7
D.16	SYS\$MESSAGE	D-7
D.17	SYS\$STARTUP	D-7
D.18	SYS\$SYSTEM	D-8
D.19	SYS\$TEST	D-8
D.20	XTPU\$EXAMPLES	D-8

索引

表

1-1	日本語 OpenVMS V8.3-1H1 の配布メディア	1-1
-----	------------------------------------	-----

本書の目的

本書は、日本語 OpenVMS オペレーティング・システム V8.3-1H1 をインストールする方法について説明します。標準版 OpenVMS のインストールについては『HP OpenVMS V8.3-1H1 インストール・ガイド[翻訳版]』を参照してください。

対象読者

本書は、システム管理者を対象としています。日本語 OpenVMS V8.3-1H1 をインストールする前に、必ず本書をお読みください。

本書の構成

本書の構成は以下のとおりです。

- | | |
|-------|--|
| 第 1 章 | 日本語 OpenVMS V8.3-1H1 インストール・キットの構成、インストールに必要なリソースなど、日本語 OpenVMS V8.3-1H1 をインストールする前の準備作業について説明します。 |
| 第 2 章 | 日本語 OpenVMS V8.3-1H1 をインストールする手順について説明します。 |
| 第 3 章 | 日本語 OpenVMS V8.3-1H1 が正しくインストールされたかどうかを検証する方法 (IVP) について説明します。 |
| 第 4 章 | 日本語 OpenVMS V8.3-1H1 のインストール後に行う作業について説明します。 |
| 付録 A | 日本語 OpenVMS V8.3-1H1 のインストール例を示します。 |
| 付録 B | XPG4 ロケール・データ・ファイルのインストール例を示します。 |
| 付録 C | 日本語 OpenVMS V8.3-1H1 インストール検証プロシージャの出力例を示します。 |
| 付録 D | 日本語 OpenVMS V8.3-1H1 が提供するファイル一覧を示します。 |

関連資料

- 『日本語 HP OpenVMS V8.3-1H1 リリース・ノート』
- 『HP OpenVMS V8.3-1H1 新機能およびリリース・ノート』
- 『HP OpenVMS V8.3-1H1 インストール・ガイド[翻訳版]』
- 『HP OpenVMS License Management Utility Manual』
- 『HP OpenVMS システム管理者マニュアル』

- 『HP OpenVMS システム管理者ユーティリティ・リファレンス・マニュアル』

本書で使用する表記法

本書では、下記の表記法を使用します。

表記法	意味
Ctrl/x	Ctrl/xという表記は、Ctrl キーを押しながら別のキーまたはポインティング・デバイス・ボタンを押すことを示します。
PF1 x	PF1 xという表記は、PF1 に定義されたキーを押してから、別のキーまたはポインティング・デバイス・ボタンを押すことを示します。
Return	例の中で、キー名が四角で囲まれている場合には、キーボード上でそのキーを押すことを示します。テキストの中では、キー名は四角で囲まれていません。 HTML 形式のドキュメントでは、キー名は四角ではなく、括弧で囲まれています。
...	例の中の水平方向の反復記号は、次のいずれかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 文中のオプションの引数が省略されている。 • 前出の 1 つまたは複数の項目を繰り返すことができる。 • パラメータや値などの情報をさらに入力できる。
.	垂直方向の反復記号は、コードの例やコマンド形式の中の項目が省略されていることを示します。このように項目が省略されるのは、その項目が説明している内容にとって重要ではないからです。
()	コマンドの形式の説明において、括弧は、複数のオプションを選択した場合に、選択したオプションを括弧で囲まなければならないことを示しています。
[]	コマンドの形式の説明において、大括弧で囲まれた要素は任意のオプションです。オプションをすべて選択しても、いずれか 1 つを選択しても、あるいは 1 つも選択しなくても構いません。ただし、OpenVMS ファイル指定のディレクトリ名の構文や、割り当て文の部分文字列指定の構文の中では、大括弧に囲まれた要素は省略できません。
[]	コマンド形式の説明では、括弧内の要素を分けている垂直棒線はオプションを 1 つまたは複数選択するか、または何も選択しないことを意味します。
{ }	コマンドの形式の説明において、中括弧で囲まれた要素は必須オプションです。いずれか 1 のオプションを指定しなければなりません。
太字	太字のテキストは、新しい用語、引数、属性、条件を示しています。
<i>italic text</i>	イタリック体のテキストは、重要な情報を示します。また、システム・メッセージ(たとえば内部エラー <i>number</i>)、コマンド・ライン(たとえば <i>/PRODUCER=name</i>)、コマンド・パラメータ(たとえば <i>device-name</i>) などの変数を示す場合にも使用されます。
UPPERCASE TEXT	英大文字のテキストは、コマンド、ルーチン名、ファイル名、ファイル保護コード名、システム特権の短縮形を示します。

表記法	意味
Monospace type	<p>モノスペース・タイプの文字は、コード例および会話型の画面表示を示します。</p> <p>C プログラミング言語では、テキスト中のモノスペース・タイプの文字は、キーワード、別々にコンパイルされた外部関数およびファイルの名前、構文の要約、または例に示される変数または識別子への参照などを示します。</p>
—	<p>コマンド形式の記述の最後、コマンド・ライン、コード・ラインにおいて、ハイフンは、要求に対する引数とその後の行に続くことを示します。</p>
数字	<p>特に明記しない限り、本文中の数字はすべて 10 進数です。10 進数以外 (2 進数, 8 進数, 16 進数) は、その旨を明記してあります。</p>

インストールの準備

この章では、日本語 OpenVMS オペレーティング・システムのインストールを実行する前に理解しておきたい内容について説明します。

1.1 インストレーション・キット

日本語 OpenVMS V8.3-1H1 のインストレーションに必要な各キットは、表 1-1 に示すメディアに含まれています。

表 1-1 日本語 OpenVMS V8.3-1H1 の配布メディア

キット	メディア
標準版 OpenVMS	「HP OpenVMS Version 8.3-1H1 for Integrity Servers Operating Environment」DVD
日本語 OpenVMS	「HP Operating Environments Update for HP OpenVMS on HP Integrity Servers」DVD
VMSI18N キット	「HP OpenVMS Version 8.3-1H1 for Integrity Servers Operating Environment」DVD

日本語 OpenVMS のキットには、標準版 OpenVMS を日本語化するためのモジュールのみが含まれています。標準版 OpenVMS がインストールされているシステムに対して日本語 OpenVMS のキットをインストールすることにより、OpenVMS オペレーティング・システムで日本語機能を使用できるようになります。

日本語 OpenVMS V8.3-1H1 のキット名は以下のとおりです。

HP-I64VMS-JVMS-V0803-1H1-1.PCSI\$COMPRESSED

1.2 アップグレード・インストレーション・パス

日本語 OpenVMS V8.3-1H1 では、日本語 OpenVMS V8.2-1 または V8.3 からのアップグレード・インストレーションをサポートしています。

V8.0 や V8.1 などの評価版からのアップグレード・インストレーションはサポートしていません。

1.3 日本語 OpenVMS のライセンス

日本語 OpenVMS V8.3-1H1 for Integrity Servers のライセンスは標準版 OpenVMS V8.3-1H1 for Integrity Servers のライセンスと共通です。標準版 OpenVMS のライセンスで日本語 OpenVMS もご使用いただけます。

1.4 必要なソフトウェア

日本語 OpenVMS V8.3-1H1 のインストールには、次のソフトウェアが必要になります。

- 標準版 OpenVMS V8.3-1H1
- XPG4 ロケール・データ・ファイル・キット (VMSI18N キット)

1.4.1 標準版 OpenVMS V8.3-1H1

日本語 OpenVMS V8.3-1H1 をインストールするためには、システムに標準版 OpenVMS V8.3-1H1 がインストールされていることが必要です。標準版のインストール手順については『HP OpenVMS V8.3-1H1 インストレーション・ガイド[翻訳版]』を参照してください。

1.4.2 XPG4 ロケール・データ・ファイル

標準版 OpenVMS V8.3-1H1 のインストール後、日本語 OpenVMS V8.3-1H1 をインストールする前に、XPG4 ロケール・データ・ファイル・キット (VMSI18N キット) のインストールが必要です。ロケール・データ・ファイルは、標準版 OpenVMS Alpha V6.2 以降でサポートされている XPG4 ランタイム・ライブラリおよびユーティリティで使用されるもので、独立したキット (VMSI18N キット) で提供されています。

VMSI18N キットのキット名は以下のとおりです。

HP-I64VMS-VMSI18N-V0803-1-1.PCSI\$COMPRESSED

「HP OpenVMS Version 8.3-1H1 for Integrity Servers Operating Environment」DVD に含まれています。

1.4.3 レイヤード・ソフトウェアのバージョン

ここでは、日本語 OpenVMS V8.3-1H1 でサポートする主なレイヤード・ソフトウェアのバージョンについて説明します。

1.4.3.1 日本語 DECwindows Motif for OpenVMS

日本語 OpenVMS V8.3-1H1 でサポートされる日本語 DECwindows Motif のバージョンは V1.6 以上です。

1.4.3.2 TCP/IP Services for OpenVMS

OpenVMS V8.3-1H1 がサポートする TCP/IP Services のバージョンは V5.6 以上です。

日本語 TCP/IP Services は提供されませんので、標準版の TCP/IP Services をご使用ください。

1.5 インストールに必要な特権

- POLYCENTER ユーティリティの実行のために、少なくとも CMKRNL, OPER, SYSLCK, SYSPRV, TMPMBX の特権が必要です。
- その他、日本語 OpenVMS V8.3-1H1 の JSY\$STARTUP.COM の実行のために、PRMGBL, SYSGBL, DETACH, PHY_IO, SYSNAM の特権が必要です。

1.6 必要なディスク容量

日本語 OpenVMS V8.3-1H1 をインストールするために必要なディスクの空きブロックは、約 100,000 ブロックです。ディスクの空きブロックが十分でないときは、不要なファイルを消すなどの処置をとってください。

なお、現在のディスクの空きブロックは、次のようにして調べることができます。

```
$ SHOW DEVICE device-name
```

1.7 必要なシステム・パラメータ

日本語 OpenVMS V8.3-1H1 のインストールには、グローバル・ページの空きが 18000 ページ、グローバル・セクションの空きが 103 セクション必要です。

日本語 OpenVMS V8.3-1H1 のインストール・プロシージャは、グローバル・ページおよびグローバル・セクションの空きを調べ、その値が上記の数字に満たない場合はインストールを中断します。

現在のシステムのグローバル・ページおよびグローバル・セクションの空きは、次のようにして調べることができます。

```
$ WRITE SYS$OUTPUT F$GETSYI("FREE_GBLPAGES")  
$ WRITE SYS$OUTPUT F$GETSYI("FREE_GBLSECTS")
```

グローバル・ページ，およびグローバル・セクションの値は次のようにして変更することができます。

1. SYS\$SYSTEM:MODPARAMS.DAT に追加

次のような行を SYS\$SYSTEM:MODPARAMS.DAT に加えてください。

```
GBLPAGES=<グローバル・ページの値(ページレット)>  
GBLSECTIONS=<グローバル・セクションの値>
```

あるいは，次のような行でもかまいません。

```
ADD_GBLPAGES=<追加するグローバル・ページの値(ページレット)>  
ADD_GBLSECTIONS=<追加するグローバル・セクションの値>
```

2. AUTOGEN を実行

次のコマンドで AUTOGEN を実行してください。

```
$ @SYS$UPDATE:AUTOGEN GETDATA REBOOT NOFEEDBACK
```

システムがシャット・ダウンされリブートされます。グローバル・ページとグローバル・セクションの値は，SYS\$SYSTEM:MODPARAMS.DAT に書かれた値に変更されます。

1.8 システム・ディスクのバックアップ

インストール中に問題が発生したときのために，必要に応じてあらかじめシステム・ディスクのバックアップをとっておくことをお勧めします。バックアップ実行の詳細については，『OpenVMS システム管理者マニュアル』を参照してください。

日本語 OpenVMS のインストール

この章では、日本語 OpenVMS オペレーティング・システム V8.3-1H1 のインストールの手順について説明します。

2.1 インストール・ツール

日本語 OpenVMS オペレーティング・システム V8.3-1H1 は、標準版 OpenVMS に含まれている POLYCENTER ソフトウェア・インストール・ユーティリティ (PCSI) プロシージャを使用してインストールします。

PCSI についての詳細は、『OpenVMS システム管理者マニュアル(上巻)』を参照してください。

なお、日本語 OpenVMS V8.3-1H1 をインストールする前に次の点を確認してください。

- 十分なディスク・スペースがあること (詳細は、第 1.6 節を参照)。
- システムに十分なグローバル・ページとグローバル・セクションがあること (詳細は、第 1.7 節を参照)。

2.2 日本語 OpenVMS V8.3-1H1 for Integrity Servers のインストール手順

ここでは、日本語 OpenVMS V8.3-1H1 の新規インストールおよびアップデート・インストールの手順を説明します。

2.2.1 日本語 OpenVMS V8.3-1H1 の新規インストール手順

日本語 OpenVMS V8.3-1H1 を新規にインストールする場合は以下の手順で行ってください。

1. 「HP OpenVMS Version 8.3-1H1 for Integrity Servers Operating Environment」DVD を DVD ドライブに挿入します。
2. EFI Shell で次のようなコマンドを実行し、DVD からシステムをブートします。

```
Shell> fs0:\EFI\VMS\VMS_LOADER.EFI
```

出荷状態の Integrity サーバの場合、DVD ドライブは通常 fs0: です。

日本語 OpenVMS のインストール

2.2 日本語 OpenVMS V8.3-1H1 for Integrity Servers のインストール手順

なお、省略時の設定では、EFI Shell で Delete (あるいはバック・スペース) キーを押した時の動作は、OpenVMS Alpha システムとは異なります。最後に入力した文字を削除するためには Ctrl/H を使用してください。

3. DVD からブートしたら、標準版 OpenVMS V8.3-1H1 をインストールします。
標準版 OpenVMS のインストール方法については、『HP OpenVMS V8.3-1H1 インストールガイド[翻訳版]』を参照してください。
4. 標準版 OpenVMS のインストールが完了したら、新しいシステム・ディスクからブートします。
新しいシステム・ディスクからブートすると、必要な設定が行われた後、システムが自動的にリブートされます。
5. システム・マネージャのアカウントにログインし、必要なライセンスの登録を行います。
6. DVD の[*kit]にある VMSI18N キットをインストールします。

```
$ PRODUCT INSTALL VMSI18N /SOURCE=device:[*.kit]
```

ここで、*device*はキットの存在するデバイスです。

7. システムに「HP Operating Environments Update for HP OpenVMS on HP Integrity Servers」DVD をマウントします。
8. 日本語 OpenVMS をインストールします。

日本語 OpenVMS V8.3-1H1 をインストールするためには、次のコマンドを入力して POLYCENTER ユーティリティを実行します。

```
$ PRODUCT INSTALL JVMS /SOURCE=device:[*.kit]
```

POLYCENTER ユーティリティは以下のようなメッセージを表示します。

```
The following product has been selected:  
  HP I64VMS JVMS V8.3-1H1          Layered Product
```

```
Do you want to continue? [YES]
```

ここでインストールされるキットが正しく日本語 OpenVMS V8.3-1H1 を示していることを確認してください。

YES と答えると、次のメッセージが表示されます。

```
Configuration phase starting ...
```

```
You will be asked to choose options, if any, for each selected product and for  
any products that may be installed to satisfy software dependency requirements.
```

```
HP I64VMS JVMS V8.3-1H1: HP OpenVMS/Japanese Industry Standard 64 Operating System
```

```
(C) Copyright 2007 Hewlett-Packard Development Company, L.P.
```


動的に標準版 DECwindows Motif がアップグレードされます。この場合、あらかじめ日本語 DECwindows Motif を削除しておくことが必要になります。

次のコマンドを使用して、日本語キット、国際化キットの順でシステムから日本語 DECwindows Motif の古いキットを削除してください。

```
$ PRODUCT REMOVE JDECW  
$ PRODUCT REMOVE DWMOTIF_I18N
```

2. 次のコマンドを実行して、システム・ブート時に日本語 OpenVMS の古いバージョンのドライバがロードされないように設定を解除してください。

```
$ @SYS$UPDATE:JSY$REMOVE.COM
```

3. SYS\$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM の編集

システム・ブート時に JSY\$STARTUP.COM が実行されないように、SYSTARTUP_VMS.COM を編集して下記の行をコメント・アウトしてください。

```
#! @SYS$STARTUP:JSY$STARTUP.COM
```

これにより、後の作業で警告メッセージが表示されるのを回避できます。

その他のユーザ・アプリケーションについても、新しいバージョンのオペレーティング・システムで正しく動作することが確認できるまでコメント・アウトしておくことをお勧めします。

4. 標準版 OpenVMS を V8.3-1H1 へアップグレードします。

「HP OpenVMS Version 8.3-1H1 for Integrity Servers Operating Environment」DVD からブートして、OpenVMS V8.3-1H1 のアップグレード・インストールを行います。アップグレード方法の詳細は、『HP OpenVMS V8.3-1H1 インストールガイド[翻訳版]』を参照してください。

注意

標準版 OpenVMS I64 V8.3-1H1 では V8.2-1 または V8.3 からのアップグレード・インストールをサポートしています。OpenVMS I64 V8.2-1 または V8.3 よりも古いバージョンがインストールされている場合は、まずシステムを V8.2-1 または V8.3 へアップグレードしてから V8.3-1H1 へのアップグレード・インストールを実行してください。

DECwindows Motif のアップグレードは、オペレーティング・システムのアップグレードと同時に行うことができます。

注意

標準版 OpenVMS のアップグレード前にシステムから TCP/IP のキットを削除してある場合、アップデート・プロシージャの省略時の設定では TCP/IP はインストールされません。このためレイヤード・ソフトウェアのインストールに関する確認プロンプトが表示されたら、TCP/IP をインストールするように設定を変更してください。

5. アップグレード・インストールが完了したら、新しいシステム・ディスクからブートします。

システム・ディスクからブートすると必要な設定が行われ、その後システムが自動的にリブートされます。

6. システムにログインして必要なライセンスを登録します。

日本語 OpenVMS およびその他の OE 付属ソフトウェアのライセンスは OE ライセンスに含まれています。

7. VMSI18N キットをインストールします。

システムに「HP OpenVMS Version 8.3-1H1 for Integrity Servers Operating Environment」DVD をマウントし、次のコマンドで VMSI18N キットをインストールします。

```
$ PRODUCT INSTALL VMSI18N /SOURCE=device:[*.kit]
```

ここで、*device*はキットの存在するデバイスです。

8. 日本語 OpenVMS をインストールします。

```
$ PRODUCT INSTALL JVMS /SOURCE=device:[*.kit]
```

ここで、*device*はキットの存在するデバイスです。

日本語 OpenVMS のインストール手順の詳細は、第 2.2.1 項を参照してください。

9. 必要に応じて、日本語 DECWindows Motif をインストールします。

日本語 OpenVMS I64 V8.3-1H1 でサポートされる日本語 DECwindows Motif のバージョンは V1.6 以上です。日本語ウィンドウ環境が必要な場合は日本語 DECwindows Motif V1.6 以上をインストールしてください。

10. この後、第 4 章で説明するインストール後の作業を実行します。

インストレーションの検証

この章では、日本語 OpenVMS オペレーティング・システムがうまくインストールされたかどうかを検証する方法について説明します。

3.1 インストレーション検証プロシージャ (IVP)

日本語 OpenVMS のキットには、日本語 OpenVMS が正しくインストールされたかどうか確認するための、インストレーション検証プロシージャ (IVP) が含まれています。IVP (JSY\$IVP.COM) は、SYS\$TEST に置かれます。

IVP は、日本語 OpenVMS の主な 14 個のユーティリティについてのテストから構成されており、このコマンド・プロシージャが正常終了した場合は、日本語 OpenVMS が正しくインストールされたことを示します。

IVP は、日本語 OpenVMS のインストレーション時に自動的に実行されます。

また、日本語 OpenVMS のインストレーション後に PAK を登録しロードした後に、単独で IVP を実行することもできます。その場合には、次のように入力して IVP を起動します。ただし、この操作には SYSPRV 特権が必要です。

```
$ @SYS$TEST:JSY$IVP.COM
```

IVP は、日本語 OpenVMS の 14 個のユーティリティが、それぞれインストールされているかどうかを判断し、インストールされていたならば、そのユーティリティについてのテストを実行します。

各ユーティリティそれぞれについてのテストが終了した時点で、そのユーティリティに問題が発見された場合、エラー・メッセージが出力されます。そして、14 個のテストすべてが終了した後に、日本語 OpenVMS のインストレーションが成功したかどうかのメッセージが出力されます。エラー・メッセージは JSY\$TEST:ERROR.DAT にも出力されます。

すべてのユーティリティについてのテストの実行ではなく、1つのユーティリティについてだけテストを実行することができます。その場合には、次のように入力してください。

```
$ @JSY$TEST:IVP_SETUP.COM [ユーティリティ・テスト名]
```

インストレーションの検証

3.1 インストレーション検証プロシージャ (IVP)

たとえば、KCODE ユーティリティの場合には、次のように入力します。

```
$ @JSY$TEST:IVP_SETUP.COM IVP_KCODE
```

上記の@SYS\$TEST:JSY\$IVP.COM は、すべてのユーティリティのテストを実行します。これらのユーティリティのユーティリティ・テスト名を実行する順番に示します。

```
IVP_CMGR  
IVP_JDICEDIT  
IVP_JSORT  
IVP_KANJIGEN  
IVP_KCODE  
IVP_KINQUIRE  
IVP_TMH  
IVP_XTPU
```

ただし、テストはインストールされているユーティリティについてだけ実行されません。IVP が正しく実行されるためには、JSY\$TEST:F_[ユーティリティ名].DAT が JSY\$TEST に存在していなければなりません。もし、それらがないとエラー・メッセージが出力されます。また、ファイル F_NECESSARY.DAT も存在しなければなりません。

IVP の実行を途中で止めたい時は Ctrl/Y を押してください。

IVP が、正常に終了した場合の出力メッセージについては、付録 C を参照してください。

インストール後の作業

この章では、日本語 OpenVMS オペレーティング・システムのインストール後の作業について説明します。

4.1 インシタル・インストール後の作業

日本語 OpenVMS を初めてシステムにインストールした場合は、インストール後に次の作業を行ってください。なお、古いバージョンからアップグレードを行った場合は、第 4.2 節を参照してアップグレード後の作業を行ってください。アップグレードの場合は、以下の作業は必要ありません。

4.1.1 システムのスタートアップ

日本語 OpenVMS を使用する前に、論理名やノウン・イメージなどの初期化が必要です。標準版 OpenVMS を立ち上げたときに、日本語 OpenVMS も自動的に初期化されるように以下の作業を行ってください。

1. 日本語スタートアップの追加

SYS\$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM に次のように日本語 OpenVMS スタートアップ・プロシージャを実行する行を追加してください。

```
$ @SYS$STARTUP:JSY$STARTUP.COM
```

なお、テンプレート・ファイル JSY\$STARTUP.TEMPLATE を編集することにより、ユーザ独自のスタートアップ・ファイル JSY\$STARTUP.COM を作成することも可能です。

2. 日本語ロケールの設定

システムの省略時のロケールを設定する時は、次のコマンドを SYS\$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM に追加してください。

```
$ DEFINE/SYSTEM/EXEC SYS$LANG "ja_JP.sdeckanji"
```

この例では省略時のロケールを ja_JP.sdeckanji に設定しています。設定可能な日本語ロケールは次の 5 つのいずれかです。

```
ja_JP.deckanji  
ja_JP.sdeckanji
```

インストール後の作業

4.1 インシャル・インストール後の作業

ja_JP.deckanji2000

ja_JP.eucJP

ja_JP.sjis

ただし、省略時のロケールは ja_JP.sjis には設定しないことをお勧めします。

3. 日本語 OpenVMS V8.3-1H1 のスタート

システムをリブートしてください。日本語 OpenVMS V8.3-1H1 がスタートしません。OpenVMS Cluster システムで、ライセンスがロードされていないために日本語 OpenVMS が実行できないときは、LICENSE LOAD コマンドでライセンスをロードしてください。

詳細は、『OpenVMS License Management Utility Manual』を参照してください。

4.1.2 漢字ターミナルの設定

実際に日本語ユーティリティを使用する前に、漢字ターミナルの設定を行わなければなりません。

詳細は、『日本語 OpenVMS 概説書』を参照してください。

4.2 アップグレード後の作業

古いバージョンからのアップグレード・インストールを行った場合には、以下の作業を行ってください。

1. SYS\$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM の編集

アップグレード・インストールの前に SYS\$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM からコメント・アウトした HP 製ソフトウェアに関して、SYS\$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM 内のコメント・アウトを外しません (SYS\$STARTUP:JSY\$STARTUP.COM など)。

また、アップグレード・インストールの前に SYS\$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM からコメント・アウトした他社製アプリケーションおよびユーザ・アプリケーションに関して動作確認を行い、動作に問題がなければ SYS\$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM 内のコメント・アウトを外します。

2. 日本語ロケールの設定

システムの省略時のロケールを設定する時は、次のコマンドを
SYS\$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM に追加してください。

```
§ DEFINE/SYSTEM/EXEC SYS$LANG "ja_JP.deckanji2000"
```

この例では省略時のロケールを ja_JP.deckanji2000 に設定しています。設定可能な日本語ロケールは次の5つのいずれかです。

```
ja_JP.deckanji  
ja_JP.sdeckanji  
ja_JP.deckanji2000  
ja_JP.eucJP  
ja_JP.sjis
```

ただし、省略時のロケールは ja_JP.sjis には設定しないことをお勧めします。

3. 日本語 DECwindows Motif の言語設定

ワークステーションで日本語 DECwindows Motif を実行していて、日本語 OpenVMS V8.3-1H1 へのアップグレード前に SYSTEM アカウントのセッション・マネージャの言語設定を「日本語」から「US English」に変更した場合は、「日本語」に戻してください。

4. 日本語 OpenVMS V8.3-1H1 のスタート

システムをリブートしてください。システムの設定が変更され日本語 OpenVMS V8.3-1H1 がスタートします。

4.3 問題点の通知

本ソフトウェアについては、弊社所定のソフトウェア保証基準に定められた保証が提供されますので、その内容にしたがった処置を取ってください。

なお、ご不明な点につきましては、弊社の各支店/営業所にお問い合わせください。

日本語 OpenVMS オペレーティング・システムのインストール例

ここでは、日本語 OpenVMS for Integrity Servers のインストールの例を示します。

例

```
$ product install jvms
Performing product kit validation ...
%PCSI-I-VALPASSED, validation of
I64VMS$DQA0:[I64831H1.KIT]HP-I64VMS-JVMS-V0803-1H1-1.PCSI$COMPRESSED;1 succeeded
The following product has been selected:
    HP I64VMS JVMS V8.3-1H1                Layered Product
Do you want to continue? [YES]
Configuration phase starting ...
You will be asked to choose options, if any, for each selected product and for
any products that may be installed to satisfy software dependency requirements.
HP I64VMS JVMS V8.3-1H1: HP OpenVMS/Japanese Industry Standard 64 Operating System
    (C) Copyright 2007 Hewlett-Packard Development Company, L.P.
Do you want the defaults for all options? [YES]
Do you want to review the options? [NO]
Execution phase starting ...
The following product will be installed to destination:
    HP I64VMS JVMS V8.3-1H1                DISK$E82SYS:[VMS$COMMON.]
Portion done: 0%...10%...20%...30%...40%...50%...60%...70%...80%...90%...100%
The following product has been installed:
    HP I64VMS JVMS V8.3-1H1                Layered Product
%PCSI-I-IVPEXECUTE, executing test procedure for HP I64VMS JVMS V8.3-1H1 ...
%PCSI-I-IVPSUCCESS, test procedure completed successfully
HP I64VMS JVMS V8.3-1H1: HP OpenVMS/Japanese Industry Standard 64 Operating System
    This product requires the following SYSGEN parameters:
        TTY_CLASSNAME value TT
    This product requires the following SYSGEN parameters:
        GBLPAGES add 18000
```

日本語 OpenVMS オペレーティング・システムのインストール例

This product requires the following SYSGEN parameters:

GBLSECTIONS add 103

Insert the following lines in SYS\$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM:

@SYS\$STARTUP:JSY\$STARTUP.COM

\$

XPG4 ロケール・データ・ファイルのインストールシ ン例

ここでは、日本語 OpenVMS for Integrity Servers の XPG4 ロケール・データ・ファイルのインストールシンの例を示します。

例

```
$ prod install vmsi18n /sour=DQA0:[VMSI18N_I640831H1.KIT]
The following product has been selected:
    HP I64VMS VMSI18N V8.3-1                Layered Product
Do you want to continue? [YES]
Configuration phase starting ...

You will be asked to choose options, if any, for each selected product and for
any products that may be installed to satisfy software dependency requirements.
HP I64VMS VMSI18N V8.3-1
Do you want the defaults for all options? [YES] n
    European and U.S. support [YES] y
    Japanese support [YES] y
    Korean support [YES] n
    Thai support [YES] n
    Chinese support [YES] n
    Unicode support [YES] y
Do you want to review the options? [NO] y
HP I64VMS VMSI18N V8.3-1
    European and U.S. support: YES
    Japanese support: YES
    Korean support: NO
    Thai support: NO
    Chinese support: NO
    Unicode support: YES
Are you satisfied with these options? [YES]
Execution phase starting ...

The following product will be installed to destination:
    HP I64VMS VMSI18N V8.3-1                DISK$E82SYS:[VMS$COMMON.]
Portion done: 0%...10%...20%...30%...40%...50%...60%...70%...80%...90%...100%
```

XPG4 ロケール・データ・ファイルのインストール例

The following product has been installed:

HP I64VMS VMSI18N V8.3-1

Layered Product

\$

インストールシヨン検証プロシージャ (IVP) の出力例

日本語 OpenVMS オペレーティング・システムのインストールシヨン検証プロシージャ (IVP) が、正常に終了した場合の出力例を以下に示します。

例

```
$ @sys$test:jsy$ivp
      Installation Verification Procedure for OpenVMS/Japanese Operating System

* * * * *
*
*           Beginning of the Installation Verification Procedure
*                   for OpenVMS/Japanese
*
* * * * *

* Running CMGR IVP...
* Running JDICEDIT IVP...
* Running J-SORT/MERGE IVP...
* Running KANJIGEN IVP...
* Running KCODE IVP...
* Running KINQUIRE IVP...
* Running TMH IVP...
* Running DEC XTPU IVP...

* * * * *
*
*           End of OpenVMS/Japanese Installation Verification Procedure
*
*                   ===== SUCCESSFUL =====
*
* * * * *
```

\$

この章では、日本語 OpenVMS オペレーティング・システムが使用するファイルの一覧を示します。

D.1 JSY\$DICTIONARY

JSYTANGO.JISHO	かな漢字変換用システム辞書
----------------	---------------

D.2 JSY\$EXAMPLES

ESCJ\$SAMPLE.TXT	日本語 ESCP トランスレータのテスト印字用サンプル・ファイル
EXAMPLE_FONTS.PRE	フォント・データ例
EXAMPLE_FONTS.TXT	フォント・データ例のメモ
GETINPUT.C	漢字入出力プログラム例 (C)
GETINPUT.FOR	漢字入出力プログラム例 (FORTRAN)
GETINPUT.MAR	漢字入出力プログラム例 (MACRO)
IM\$KEY_COMMON_BODY.DAT	IMLIB 用キー定義ファイル本体
IM\$KEY_COMMON_BODY_LEVEL2.DAT	IMLIB 用キー定義ファイル本体
IM\$KEY_EVEJ.DAT	IMLIB 用 EVEJ キー定義マクロ (テキスト)
IM\$KEY_EVEJ_LEVEL2.DAT	IMLIB 用 EVEJ キー定義マクロ (テキスト)
IM\$KEY_JVMS.DAT	IMLIB 用 JVMS キー定義マクロ (テキスト)
IM\$KEY_JVMS_LEVEL2.DAT	IMLIB 用 JVMS キー定義マクロ (テキスト)
IM\$KEY_LEIA.DAT	IMLIB 用 LEIA キー定義マクロ (テキスト)
IM\$KEY_LEIA_LEVEL2.DAT	IMLIB 用 LEIA キー定義マクロ (テキスト)
IM\$KEY_TARO.DAT	IMLIB 用 TARO キー定義マクロ (テキスト)
IM\$KEY_TARO_LEVEL2.DAT	IMLIB 用 TARO キー定義マクロ (テキスト)
IM\$KEY_TARO_BODY.DAT	IMLIB 用 TARO キー定義 (テキスト)
IM\$KEY_TARO_BODY_LEVEL2.DAT	IMLIB 用 TARO キー定義 (テキスト)

ファイル一覧
D.2 JSY\$EXAMPLES

IM\$ROMKANA_DB.TEMPLATE	ローマ字かな変換テーブル
TANGOFOR.FOR	かな漢字変換ルーチン使用例 (FORTRAN)

D.3 JSY\$HELP

JDICEDIT.HLB	JDICEDIT ヘルプ
JSY\$CONTROL.HLB	日本語環境設定ユーティリティ・ヘルプ
JSYHELP.HLB	日本語システム・ヘルプ

D.4 JSY\$LIBRARY

JSYDEF.FOR	かな漢字変換定数定義 (FORTRAN)
JSYDEF.H	かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 (C)
JSYDEF.L32	かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 (BLISS-32)
JSYDEF.MAR	かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 (MACRO)
JSYDEF.PAS	かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 (PASCAL)
JSYDEF.R32	かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 (BLISS-32)
JSYLIB.OLB	日本語処理ルーチン・オブジェクト・ライブラリ
JSYSHR.OPT	JSYSHR LINK 用オプション・パラメータ

D.5 JSY\$SYSTEM

DEV_ATTR.EXE	漢字端末設定用 (KANJI TERM.COM が使用する)
FONTHANDL.EXE	フォント・ハンドラ
JDICEDIT.EXE	JDICEDIT 辞書編集ユーティリティ
JSY\$CHARACTER_INDEX.DAT	CMGR 文字データ用インデックス・ファイル
JSY\$CHARACTER_MASTER_INDEX.DAT	CMGR 文字データ用マスター・インデックス・ファイル
JSY\$DECKANJI_CODE_INFO.DAT	CMGR 用 DEC 漢字文字セット情報ファイル
JSY\$GLYPH_XXXXX_JIS2.GDB	CMGR 用フォント・データベース (xx ドット, JIS 第2水準文字)
JSY\$GLYPH_XXXXX.USER.GDB	CMGR 用フォント・データベース (xx ドット, ユーザ定義文字)

JSY\$GOTHIC_XXxxx_JIS2.GDB	CMGR 用フォント・データベース (xx ドット, JIS 第 2 水準文字)
JSY\$GOTHIC_XXxxx.USER.GDB	CMGR 用フォント・データベース (xx ドット, ユーザ定義文字)
JSY\$GOTHIC_CHARACTER. INDEX.DAT	CMGR 文字データ用インデックス・ファイル
JSY\$JAPAN_SPECIFIC.DAT	CMGR 用国別情報ファイル
JSY\$SWITCH.COM	メッセージ/ヘルプ切り替えコマンド・ プロシージャ
JSYCP_SUB.COM	日本語環境設定ユーティリティ用コマンド・ プロシージャ
KANJIGEN.EXE	KANJIGEN ユーティリティ
KANJITERM.COM	漢字端末設定用コマンド・プロシージャ
KCODE.EXE	KCODE 漢字コード変換ユーティリティ
KINQ.EXE	KINQUIRE 日本語 INQUIRE
SETUP.COM	シンボル設定コマンド・プロシージャ

D.6 JSY\$TEST

IVP_TESTS.DAT	IVP 用データ・ファイル
F_XXXX.DAT	日本語 OpenVMS Alpha の各ユーティリティの IVP に使う入力データ
IVP_XXXX.COM	日本語 OpenVMS Alpha の各ユーティリティの IVP コマンド・プロシージャ
JSY\$IVP_CMGR24.PRE	CMGR の IVP 用データ・ファイル
JSY\$IVP_CMGR40.PRE	CMGR の IVP 用データ・ファイル
JSY\$IVP_JDICEDIT.JISHO	JDICEDIT の IVP に使う辞書ファイル
SOR\$IVP.DAT	JSORT の IVP 用データ・ファイル
SOR\$IVPIN.DAT	JSORT の IVP 用入力データ・ファイル

D.7 SYS\$COMMON:[SYS\$KEYMAP.DECW.SYSTEM]

JAPANESE_LKxxxxJ .DECW\$KEYMAP	日本語 DECwindows Motif 用の キーマップ・ファイル
JAPANESE_PCXAJAA_xx .DECW\$KEYMAP	日本語 DECwindows Motif 用の キーマップ・ファイル

D.8 SYS\$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]

JDECW_XXXX.PCF

日本語 DECwindows Motif 用の
フォント・ファイル (75DPI)

D.9 SYS\$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]

JDECW_XXXX_100DPI.PCF

日本語 DECwindows Motif 用の
フォント・ファイル (100DPI)

D.10 SYS\$COMMON:[SYSHLP.EXAMPLES.DECW]

DEC\$FONT_ALIAS_
KANJI.DAT

日本語 DECwindows Motif 用のキーマップの例

D.11 SYS\$COMMON:[SYSHLP.JA_JP]

CMGREDIT.HLB

CMGR の EDIT コマンドの日本語ヘルプ

CMGRHELP.HLB

CMGR の日本語ヘルプ

DBG\$HELP.HLB

日本語版デバッガ・ヘルプ

HELPLIB.HLB

日本語版ヘルプ

JSY\$KANJIENHELP.HLB

KANJIGEN の日本語ヘルプ

MAILHELP.HLB

日本語版 MAIL ヘルプ

PHONEHELP.HLB

日本語版 PHONE ヘルプ

D.12 SYS\$COMMON:[SYSMSG.JA_JP]

CMGRMSG.EXE	CMGR 日本語メッセージ
JSY\$CONTROLMSG.EXE	日本語環境設定ユーティリティ日本語メッセージ

D.13 SYS\$HELP

CMGREDIT.HLB	CMGR の EDIT コマンドのためのヘルプ
CMGRHELP.HLB	CMGR のヘルプ
JSY\$I640831H1.RELEASE_NOTES	日本語 OpenVMS V8.3-1H1 リリース・ノート
JSY\$KANJIGENHELP.HLB	KANJIGEN の英語ヘルプ
XTPU\$HELP.HLB	XTPU のヘルプ
JEVE\$HELP_V3.HLB	日本語 EVE のヘルプ
JEVE\$KEYHELP_V3.HLB	日本語 EVE のヘルプ
JEVE\$DWHELP.HLB	日本語 EVE のヘルプ

D.14 SYS\$LIBRARY

CMGRDISPSHR.EXE	CMGR 画面管理用共有可能イメージ
CMGRSHR.EXE	CMGR 共有可能イメージ
ESCP\$TRANSSHR.EXE	ESCP トランスレータ
HMDEF.H	HM API ヘッダ・ファイル (C)
HMDEF.R32	HM API ヘッダ・ファイル (BLISS_32)
IM\$ARKSHR.EXE	自動ローマ字かな変換モジュールの共有可能イメージ
IM\$DEF.FOR	IMLIB の FORTRAN 用ヘッダ・ファイル
IM\$DEF.H	IMLIB の C 用ヘッダ・ファイル
IM\$DEF.R32	IMLIB の BLISS 用ヘッダ・ファイル
IM\$HMJSYVECSHR.EXE	日本語システムのインターフェイス
IM\$HMSHR.EXE	変換モジュールの共有可能イメージ
IM\$KEY_EVEJ.IM\$DAT	IMLIB 用 EVEJ キー定義 (バイナリ)
IM\$KEY_EVEJ_LEVLE2.IM\$DAT	IMLIB 用 EVEJ キー定義 (バイナリ)
IM\$KEY_JVMS.IM\$DAT	IMLIB 用 JVMS キー定義 (バイナリ)

ファイル一覧
D.14 SYS\$LIBRARY

IM\$KEY_JVMS_LEVEL2.IM\$DAT	IMLIB 用 JVMS キー定義 (バイナリ)
IM\$KEY_LEIA.IM\$DAT	IMLIB 用 LEIA キー定義 (バイナリ)
IM\$KEY_LEIA_LEVEL2.IM\$DAT	IMLIB 用 LEIA キー定義 (バイナリ)
IM\$KEY_TARO.IM\$DAT	IMLIB 用 TARO キー定義 (バイナリ)
IM\$KEY_TARO_LEVEL2.IM\$DAT	IMLIB 用 TARO キー定義 (バイナリ)
IM\$KKCSHR.EXE	かな漢字変換共有インターフェイス・イメージ
IM\$PROFILE.DAT	IMLIB 用標準 PROFILE
IM\$PROFILE_EVEJ.DAT	IMLIB 用 EVEJ キー PROFILE
IM\$PROFILE_JVMS.DAT	IMLIB 用標準 PROFILE (IM\$PROFILE.DAT と同じもの)
IM\$PROFILE_LEIA.DAT	IMLIB 用 LEIA キー PROFILE
IM\$PROFILE_TARO.DAT	IMLIB 用 TARO キー PROFILE
IM\$SHR.EXE	変換キー定義ライブラリ (IMLIB)
JEVE\$SECTION_V3.XTPU\$SECTION	日本語 EVE のセクション・ファイル
JEVE\$WIDGETS_MOTIF.UID	日本語 EVE の DECwindow/Motif 用の UID ファイル
JEVE_V3.DAT	日本語 EVE V3 のリソース・ファイル
JSYDEF.FOR	かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 (FORTRAN)
JSYDEF.H	かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 (C)
JSYDEF.L32	かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 (BLISS-32)
JSYDEF.MAR	かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 (MACRO)
JSYDEF.PAS	かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 (PASCAL)
JSYDEF.R32	かな漢字変換ルーチン・ステータス定義 (BLISS-32)
JSY\$SMGDEF.FOR	日本語 SMG ステータス定義 (FORTRAN)
JSY\$SMGDEF.H	日本語 SMG ステータス定義 (C)
JSY\$SMGDEF.L32	日本語 SMG ステータス定義 (BLISS-32)
JSY\$SMGDEF.MAR	日本語 SMG ステータス定義 (MACRO)
JSY\$SMGDEF.PAS	日本語 SMG ステータス定義 (PASCAL)
JSY\$SMGDEF.PLI	日本語 SMG ステータス定義 (PL/I)
JSY\$SMGDEF.R32	日本語 SMG ステータス定義 (BLISS-32)
JSY\$SMGSHR.EXE	日本語 SMG 共有可能イメージ
JSY\$UTIL\$SHARE.EXE	日本語ページ表示共有イメージ
JSYSHR.EXE	日本語処理ランタイム・ライブラリ
JSY\$KKSHR.EXE	日本語処理ランタイム・ライブラリ
JSYSHRP.EXE	日本語処理ランタイム・ライブラリ
SORJPNICT.EXE	SORT/MERGE 日本語辞書ファイル
SORTDTYPE.EXE	SORT/MERGE 共有可能イメージ (日本語機能)
XTPU\$CCTSHR.EXE	XTPU のキャラクタセル端末用の共有可能イメージ

XTPU\$CSSHR_JA_JP.EXE	XTPU の日本語コード変換用の 共有可能イメージ
XTPU\$DEBUG.TPU	XTPU のデバッグ用のコマンド・ ファイル
XTPU\$MOTIFSHR.EXE	XTPU の Motif 用イメージ
XTPU.DAT	XTPU の Motif 用データ・ファイル
XTPUSHR.EXE	XTPU の共有可能イメージ

D.15 SYS\$LOADABLE_IMAGES

JSY\$ASDRIVER.EXE	TTDRIVER の補助ドライバ
JSY\$FHDRIVER.EXE	フォントハンドラ用のドライバ
JSY\$RMS_EXTENSION.EXE	DDIF 日本語サポート用イメージ

D.16 SYS\$MESSAGE

CMGRMSG.EXE	CMGR メッセージ・ファイル
IM\$MESSAGE.EXE	IMLIB メッセージ・ファイル
JSY\$CONTROLMSG.EXE	日本語環境設定ユーティリティ・メッセージ・ファイル
XTPUMSG.EXE	XTPU のメッセージ・ファイル

D.17 SYS\$STARTUP

IM\$STARTUP.COM	IMLIB のスタートアップ・コマンド
JSY\$CONFIG.COM	日本語システムの論理名を定義するコマンド
JSY\$DT_STARTUP.COM	日本語ライブラリの元号を定義するコマンド
JSY\$DT_STARTUP.TEMPLATE	日本語ライブラリの元号を定義するテンプレート
JSY\$STARTUP.COM	日本語システム・スタートアップ・コマンド
JSY\$STARTUP.TEMPLATE	日本語システム・スタートアップ・テンプレート
XTPU\$STARTUP.COM	XTPU のスタートアップ・コマンド

D.18 SYS\$SYSTEM

CMGR.EXE	CMGR 実行イメージ
ESCJ\$PRTSMB.EXE	日本語 ESCP のローカル・シリアルポート・プリント・シンビオント
ESCJ\$LATSYSM.EXE	日本語 ESCP の LAT プリント・シンビオント
ESCJ\$TELNETSYM.EXE	日本語 ESCP の TELNET プリント・シンビオント
IM\$KEYBIND.EXE	KEYBIND コマンド
JSY\$CONFIG.EXE	日本語システムの論理名の定義
JSY\$CONTROL.EXE	日本語環境設定ユーティリティ
JSY\$LOAD_IMAGE.EXE	日本語システムのイメージ・ローダ
JSY\$SETSHOSECUR.EXE	日本語セキュリティ・ユーティリティ
SMGBLDTRM.EXE	TERMTABLE のコンパイラ
SMGTERMS.TXT	端末の属性定義ファイル
TERMTABLE.EXE	端末の属性定義イメージ
TYPE.EXE	DCL TYPE ユーティリティ
XTPU.EXE	XTPU の実行イメージ

D.19 SYS\$TEST

JSY\$IVP.COM	日本語 OpenVMS の IVP コマンド・プロシージャ
--------------	-------------------------------

D.20 XTPU\$EXAMPLES

CALLABLE_EXMAPLE.C	他のプログラムから XTPU を呼ぶ例 (C 言語)
JEVE\$EVEJ-TARO.EVE	日本語 EVE を TARO キー定義で使い、数字キーパッドを EVEJ と同じ定義にするための初期化ファイル
JEVE\$INIT_V3.EVE	日本語 EVE V3 初期化ファイルの例
JEVE\$MASTER.FILE	日本語 EVE のビルド用マスター・ファイル
JEVE\$SAMPLE_INIT.EVE	日本語 EVE の初期化ファイルの例
JEVE\$VERSION.DAT	日本語 EVE のソース・コード
JEVE\$xxxx.TPU	日本語 EVE のソース・コード
JEVE\$xxxx.UIL	日本語 EVE のソース・コード

SIMPLE.C	単純なコール可能 I/F を使った例 (C)
SIMPLE.COM	単純なコール可能 I/F のためのコマンド・ プロシージャ
SIMPLE.OPT	単純なコール可能 I/F のオプション・ファイル
XTPU_EXAMPLES.TXT	XTPU の例題ファイルの簡単な説明

索引

A

AUTOGEN 1-4

I

IVP 3-1
 実行の中止 3-2
 出力例 C-1

J

JSY\$DICTIONARY D-1
JSY\$EXAMPLES D-1
JSY\$HELP D-2
JSY\$IVP.COM 3-1, 3-2
JSY\$LIBRARY D-2
JSY\$SYSTEM D-2
JSY\$TEST D-3
JSYS\$TEST:ERROR.DAT 3-1

P

PCSI 2-1
PCSI キット 1-1
POLYCENTER ソフトウェア・インストレーション・ユーテリティ 2-1

S

SYS\$COMMON:
 [SYS\$KEYMAP.DECW.SYSTEM] D-3
 [SYSFONT.DECW.100DPI] D-4
 [SYSFONT.DECW.75DPI] D-4
 [SYSHLP.EXAMPLES.DECW] D-4
 [SYSHLP.JA_JP] D-4
 [SYSMSG.JA_JP] D-5
SYS\$HELP D-5
SYS\$LIBRARY D-5
SYS\$LOADABLE_IMAGES D-7
SYS\$MANAGER:SYSTARTUP_VMS.COM
 4-1
SYS\$MESSAGE D-7
SYS\$STARTUP D-7
SYS\$SYSTEM D-8
SYS\$SYSTEM:MODPARAMS.DAT 1-4
SYS\$TEST 3-1, D-8

V

VMSI18N キット
 インストレーションの例 B-1

X

XPG4
 ロケール・データ・ファイル 1-2
XPG4 ロケール・データ・ファイル
 インストレーションの例 B-1
XTPU\$EXAMPLES D-8

ア

アップグレード後の作業 4-2

イ

イニシャル・インストール後の作業 4-1
インストール前の準備 1-1
インストレーション 2-1
 検証 3-1
 後の作業 4-1
 必要な特権 1-3
インストレーション検証プロシージャ (IVP)
 出力例 C-1
インストレーションの例 A-1

カ

漢字ターミナルの設定 4-2

ク

グローバル・セクションの値 1-4
グローバル・ページの 1-4

シ

システム・ディスクのバックアップ 1-4

テ

インストール・キット 1-1

ニ

日本語 DECwindows Motif
言語設定 4-3

日本語 OpenVMS
インストール検証プロシージャ
(IVP) 3-1
システムのスタートアップ 4-1
ファイル一覧 D-1

日本語 OpenVMS I64
インストールの例 A-1

日本語スタートアップの追加 4-1
日本語版インストール 2-1
日本語ロケールの設定 4-1, 4-2

ヒ

必要なソフトウェア 1-2
必要なディスク容量 1-3

モ

問題点の通知 4-3

ユ

ユーティリティ・テスト名 3-2

日本語 OpenVMS
V8.3-1H1 インストレーション・ガイド

2007 年 11 月 発行

日本ヒューレット・パカード株式会社

〒 102-0076 東京都千代田区五番町 7 番地

電話 (03)3512-5700 (大代表)

BA322-90081

